

自己評価報告書

平成23年 4月 1日現在

機関番号：17401

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2008～2011

課題番号：20530859

研究課題名（和文） 総合的学習のための表現教育のカリキュラム開発研究

研究課題名（英文） A Study of Curriculum Development on Expression Education for Synthetic Learning

研究代表者

梅田 素博 (UMEDA MOTOHIRO)

熊本大学・教育学部・教授

研究者番号：40213491

研究分野：美術教育

科研費の分科・細目：教育学・教科教育学

キーワード：総合的学習、表現教育、カリキュラム開発研究

1. 研究計画の概要

美術科をはじめとする芸術教科でも教科内容の充実と同時に、総合的学習の観点からも表現教育の可能性が探究されている。本研究では、芸術教科である美術科を表現教育として捉え、これを基盤とした総合的な教育内容とカリキュラムを試作する。さらに表現教育として「音楽」の要素も取り入れるとともに、今日的課題である「映像教育」との有機的調和を可能にする教材、カリキュラムを作成することを目的としている。

2. 研究の進捗状況

(1) 美術における色彩と、音楽における「音」との相関性の研究を行った。ある一つの感覚が、他の分野の感覚を引き起こすことを共感覚と呼んでいるが、その中に音にもなって色が見えると言う色聴がある。視覚と聴覚が同時に生じる現象である。またその連想としては、一般に高い音には明度の高い色彩を、低い音には低明度の色をイメージしやすい。また造形教育の教材として、ある音楽の曲全体を聴くことによって、そのイメージを抽象的な色彩や形態で表現する方法もある。さらに幼少期にピアノを教授する場合に、音と色とを相関させていく方法（色音符法）もらい、これも音と色に情緒的な共通性があり原初的に結びつき安い現れである。このような共感覚や連想を含めた多様な対応関係に関する学術調査及び研究資料の収集を行い、それに基づく教材・カリキュラム開発研究を行った。

(2) 映像教育については、その基本として特に「光」を素材とした研究を行った。光には自然光と人工光があり、その性質には透過、

反射、屈折、干渉、回折などの特性がある。光を使った造形には、これらの性質を利用した表現や光源自体を造形作品の要素としたもの、また光を媒介としながら画像を記録する写真・映像表現などがある。そして、光の造形が科学技術の進展にともないその表現を拡大していくなかで、今日の学校教育の教材としても取り入れられるようになった。例えば、中学校学習指導要領（美術）における「光」や「写真などの映像メディア」の内容であり、中学校教諭免許状（美術）における「映像メディア」の規定である。これらの映像メディア表現に関する教育は、情報化社会に対応するための領域であり、光や写真、映像などの教材においても、視覚的環境をより有効に充実させる手段として設定されている。この映像教育に関して、学術調査と研究資料の収集を行い、それに基づく教材・カリキュラム開発研究を行った。

3. 現在までの達成度

① 当初の計画以上に進展している。

（理由）

美術と音楽との相応関係に関する先行研究を収集・調査し、それらについて分析と実験を行った。また美術を基盤とした表現教育に関する資料の収集し、これを検討・分析した。同時に映像化された表現教育の資料を検討し、視覚的メディアによるコミュニケーションの立場から教材を作成して、カリキュラムを研究した。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 表現教育と映像教育との関連性を検討できる教育内容の調査とカリキュラム研究を行う。ここで明らかにすることは、表現教育

と映像教育のカリキュラム構造及び教材構造である。これまでの研究調査をもとに総合的学習における表現教育の具体的カリキュラム案及び映像化された教材を研究する。そして、教員養成におけるカリキュラムも試作し、芸術教科を基盤とした表現教育と映像教育の総合的展開の可能性を明らかにする。

(2)美術を基盤とし、音楽及び映像教育を含めた表現教育のカリキュラムと教材を研究する。こうした試みは美術教育の方法や教材を開発するうえで一つの手がかりとなるものである。特に今日、小学校や中学校において複合領域での教材研究やあるいは総合的な学習における教材研究の取り組みとして有効に機能すると考えられる。そのため、これらのカリキュラムにおける指導法の試案を作成し検討する。

(3)映像化された教材とそのデザインの研究を行う。映像に関する教育は急速に進展する情報化社会において不可欠の内容を持っている。ここでは美術と音楽・映像の融合により新たな表現教育の内容と方法を明らかにする。それらのカリキュラム及び教材を具体的に統合し、研究の総括を行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計9件)

- ①梅田素博、「The Universe of Moonlight 10-VII」(50×50cm)、2010 秋季国際交流作品展 (KSBDA International Fall Exhibition):ガチョン医科大学校(韓国)、作品集 p.54、2010年、査読無
- ②梅田素博、「月光の宇宙 10-I」(124×84cm)、第60回記念モダンアート展:福岡市美術館、作品集 p.59、2010年、査読無
- ③梅田素博、「The Universe of Moonlight 10-II」(50×50cm)、2010 春季国際交流作品展 (KSBDA International Spring Exhibition):慶熙大学(韓国)、作品集 p.204、2010年、査読無
- ④梅田素博、「蠱惑の世界 09-I」(103×73cm)、第59回モダンアート展:東京都美術館、作品集 p.59、2009年、査読無
- ⑤梅田素博、「蠱惑の世界 08-I」(166×112cm)、第58回モダンアート展:東京都美術館、作品集 p.59、2008年、査読無

[学会発表] (計13件)

- ①梅田素博、「月光の宇宙 10-VI」(70×60cm)、日本基礎造形学会第21回兵庫県西宮大会会員作品展、2010年9月1日～5日、大手

前大学アートセンター (大会概要集 p.24)

- ②梅田素博、「The Universe of Moonlight 10-II」(50×50cm)、2010 KSBDA-UNLV International Invitation Exhibition (韓国基礎造形学会アメリカ大会国際作品展)、2010年7月1日～15日、ネバダ州立大学(米国)(作品集 p.137)
- ③梅田素博、「蠱惑の世界 10-I」・「蠱惑の世界 10-II」(各70×60cm)、第30回国際美術家協会展:経済産業大臣賞受賞、2010年6月8日～14日、兵庫県民アートギャラリー
- ④梅田素博、「蠱惑の世界 09-II」・「蠱惑の世界 09-III」(各70×60cm)、第29回国際写真家協会展:FSUN 国連支援交流協会賞受賞、2009年6月10日～16日、兵庫県民アートギャラリー
- ⑤梅田素博、「蠱惑の世界 08-II」・「蠱惑の世界 08-III」(各70×60cm)、第28回国際写真家協会展:駐神戸韓国総合教育院賞受賞、2008年6月5日～10日、兵庫県民アートギャラリー